

—— はじめに ——



昨年 2024 年は、地球規模で気候変動の影響が顕著に現れた一年でした。世界の平均気温は、観測史上最高に達し、産業革命前と比べて 1.5℃以内に抑えることを目指す「パリ協定」の目標を初めて超える記録的な高温となりました。名古屋地方気象台によると、愛知県（名古屋市）でも、観測史上最高となる平均気温を記録し、猛暑日（最高気温 35℃以上）の日数も観測史上最多、平年の 3 倍以上に達しました。こうした異常気象により、熱中症の搬送者数の増加や農産物の収量、品質の低下など、私たちの生活にも大きな影響が現れています。

また、地球温暖化の進行等により、生物多様性の損失も深刻化しており、現在は自然状態の約百倍から千倍とも言われるスピードで種の絶滅が進んでいるとも言われています。

さらに、大規模な資源採取を伴う、大量生産・大量消費型の経済社会活動は、依然として大量の廃棄物を排出しており、特にプラスチックごみは深刻な海洋汚染を引き起こし、生物多様性の損失、加えて気候変動問題にも影響を及ぼしています。

こうした地球規模の危機に対処し、カーボンニュートラル（脱炭素）の実現やネイチャーポジティブ（自然再興）の達成、サーキュラーエコノミー（循環経済）への転換をするためには、これまでの取組をより一層進めることはもとより、従来の延長線上にはない、革新的な技術・アイデアを積極的に取り入れ、社会実装していく必要があります。

このため、愛知県では、2023 年度から、愛知発の環境イノベーションの創出と社会実装を目指す「あいち環境イノベーションプロジェクト」を推進しています。

本プロジェクトでは、全国のスタートアップ等から革新的な技術やアイデアを募集し、2024 年度は 8 件、2025 年度は 4 件のプロジェクトを採択しました。採択したプロジェクトについては、順次、県内の 50 を超える企業や団体が参画する「あいち環境イノベーションコンソーシアム」の会員企業等とのマッチングや、実証実験の実施、専門家によるロードマップづくりなどの支援を行うことにより、事業化・社会実装に向けて取り組んでいます。

こうしたことを踏まえ、今回の環境白書では、「特集」において、「愛知発の環境イノベーション創出・実装」に向けた取組を紹介します。

この環境白書が、愛知の環境についての理解を深め、また、県民、事業者、関係団体の皆様がそれぞれの立場から環境をよりよくするための取組を進めていただくきっかけとなれば幸いです。

2025 年 12 月

愛知県知事 大村秀章

目 次

第1部 特集

特集 愛知発の環境イノベーション創出・実装に向けて	1
---------------------------	---

第2部 令和6年度の環境の状況と施策

第1章 地球温暖化等	11
------------	----

第1節 地球温暖化	11
-----------	----

第2節 オゾン層保護とフロン類対策	33
-------------------	----

第2章 大気環境	35
----------	----

第1節 環境の状況	35
-----------	----

第2節 大気環境保全に関する施策	41
------------------	----

第3章 交通環境	43
----------	----

第1節 自動車交通環境	43
-------------	----

第2節 航空機騒音	50
-----------	----

第3節 新幹線鉄道騒音・振動	51
----------------	----

第4章 生活環境（騒音、振動、悪臭）	52
--------------------	----

第1節 概況	52
--------	----

第2節 騒音・振動	52
-----------	----

第3節 悪臭	55
--------	----

第5章 水環境	57
---------	----

第1節 環境の状況	57
-----------	----

第2節 水環境保全に関する施策	66
-----------------	----

第6章 土壌環境	84
----------	----

第1節 環境の状況	84
-----------	----

第2節 土壌汚染防止のための施策	84
------------------	----

第7章 地盤環境	86
----------	----

第1節 環境の状況	86
-----------	----

第2節 地盤環境保全に関する施策	88
------------------	----

第8章 廃棄物・資源循環	89
--------------	----

第1節 環境の状況	89
-----------	----

第2節 廃棄物・資源循環に関する施策	95
--------------------	----

第9章 自然環境・生物多様性	122
----------------	-----

第1節 環境の状況	122
-----------	-----

第2節 自然環境保全に関する施策	123
------------------	-----

第3節 生物多様性の保全と施策	142
-----------------	-----

第10章 環境リスク	150
第1節 化学物質の適正管理	150
第2節 ダイオキシン類対策	153
第3節 環境放射能	155
第11章 人づくり・環境学習等	161
第1節 人づくりの推進	161
第2節 環境学習等の推進	169
第3節 SDGs 達成に向けた「人づくり」の推進	172
第4節 国際環境協力の推進	173
第12章 環境における各種基盤施策	174
第1節 公害の防止、健康被害者の救済	174
第2節 環境影響評価の実施	177
第3節 企業の環境保全活動の支援	180
第4節 県の事務・事業における環境配慮の推進	180
第5節 環境に関する調査・研究	183
第13章 第5次愛知県環境基本計画の進捗状況	187

※以下の資料編については、Web ページにてご確認ください。

資料編

大気環境	(1)
騒音・振動・悪臭	(18)
水環境	(23)
土壌環境・地盤環境	(53)
廃棄物・資源循環	(61)
自然環境	(63)
組織・法体系等	(69)
環境行政年表	(75)

クローズアップ 目次

・ 矢作川・豊川 CN（カーボンニュートラル）プロジェクトを推進しています	17
・ 県有林において森林クレジットの創出・販売に取り組んでいます	18
・ CO ₂ コンクリート固定化技術を用いた域内カーボンリサイクルプロジェクトを支援しています	19
・ 荷主と運輸事業者等の連携による物流脱炭素化プロジェクトを支援しています	20
・ 地産地消 SAF サプライチェーン構築プロジェクトが始動しました	21
・ ペロブスカイト太陽電池普及拡大プロジェクトが始動しました	22
・ 熱中症対策啓発キャラクター「すずみーな」を用いたクーリングシェルターの周知に 取り組んでいます	24
・ 水素社会実装推進課を設置し、水素・アンモニアの社会実装に向けた取組が進んでいます	27
・ 知多市における低炭素水素モデルタウン事業に取り組んでいます	28
・ 洋上風力発電（浮体式実証）の県内実証海域における事業を支援しています	30
・ 三河湾で藻場造成の実証実験を行っています	76
・ プラスチック循環利用モデルプロジェクトチームによる新たな再生利用の取組が各地域で 進んでいます	98
・ 「太陽光パネル循環利用モデルプロジェクトチームによる太陽光パネルのガラス循環の取組が 進んでいます	99
・ プラスチックごみ削減について学ぶオンライン謎解きイベントを開催しました	107
・ 令和 6 年能登半島地震等に係る災害廃棄物の処理を県内で実施しました	109
・ レッドリストあいち 2025 を作成しました	127
・ 企業の生物多様性を考えるセミナー及びバスツアーを開催しました	146
・ 生物多様性条約第 16 回締約国会議（COP16）に参加しました	148
・ 愛知万博 20 周年を迎え、万博で行われた環境配慮の取組とその継承について紹介しました	166
・ あいち環境学習交流会を開催しました	171

凡例

◆ 年（年度）の表記は、原則として西暦を使用し、公的文書の引用等の場合は和暦を使用しています。